

常陸太田市のごみ処理費用は**1年間で約6億円!!**

環境も家計も
良くなる好循環

身近に
できる

ごみ削減エコライフ

リフューズ
Refuse

ごみになるものは買わない・断る

不要なもの、余計なものは「いりません」と断る

例) マイバックを持ち歩く。マイ箸を持ち歩いて割りばしを断る。過剰包装を断る。

リデュース
Reduce

ごみの発生抑制・少なくする

ごみを減らす。ものを大事に使う
できるだけごみを出さない生活をする

例) 洗剤やシャンプーは容器入りを毎回買わず、詰め替え用を選ぶ。食材は使いきれ的分だけ買う。料理を作りすぎない、食べ残さない。

リユース
Reuse
再使用する

まだ使えるものを、
繰り返し使用する
修理して使う、人に譲る

例) フリーマーケットを利用する。

リサイクル
Recycle
再生利用する

資源としてまた利用する
リサイクル出来るものは
分別する

例) 紙類・びん・缶・ペットボトルなどはきちんと分別し資源として出す。

ゴミ削減に
必要な

4R

みんなで
ごみ減らした
すぎー!!!!!!



普通に生活するだけで、どうしても出てしまうごみ。いま、市民ひとりが出している1日あたりのごみの量は872gです。これを年間換算し、市内の事業者から排出されるごみも加えると年間1万5884トン(平成30年度)にもおよびます。さらに、このごみを処理する費用として市全体で年間約6億円も使われています。例えば毎週2回のごみ回収など、生活衛生環境のためにもごみ処理費用の削減は簡単ではないのが現状。また、焼却処理で発生する二酸化炭素や埋立灰は世界的問題にもなっています。現代社会において、ごみを生まないことは不可能に近いかもしれません。ただ、ごみを「減らす」ことはまだまだできるはず。そこで今回は、市民の皆さんに考え、実行してもらいたい「ごみ削減方法」について特集します。ごみを減らすために大切な4要素としてよく掲げられるのが「4

普通

「R」という4つの「R」です。まず、この4つの「R」を意識することが大切です。安いからといって、耐久性に乏しい商品を大量買いし、すぐに捨ててしまうことは結果的にごみを増やし、ごみの処分費用を上げることになってしまいます。市民一丸となって、今日からごみ削減にチャレンジしてみませんか。未来へ向け持続可能な常陸太田市を作るため、はじめの一步を一緒に踏み出しましょう。



資源物の分別の様子



資源ごみの分別

食用油をリサイクル

使用済み食用油や消費期限切れの食用油をペットボトルなどにいれ、市役所本庁・各支所に設置された回収ボックスにだけ入れて専用業者が精製し、ボイラー用の燃料などになります。



缶やペットボトルをリサイクル

すでに皆さんが分別している空き缶やペットボトルもリサイクルされています。アルミ缶とスチール缶にさらに分別され、アルミ缶はまたアルミ缶や自動車の部品などに、スチール缶は建物や橋の原材料などになります。ペットボトルは化学繊維としてTシャツや帽子などに生まれ変わります。



小型家電をリサイクル

携帯電話などの小型家電に使われるレアメタルなどの貴重な資源を有効に活用するため、小型家電のリサイクルを行っています。市役所本庁・各支所・生涯学習センターに専用回収ボックスが設置されています。

リサイクルできる小型家電

携帯電話・電卓・P.H.S・据置型ゲーム機・デジタルカメラ・携帯型ゲーム機・ビデオカメラ・リモコン・カーナビ・腕時計（電子式）・電子辞書（電子手帳）・ACアダプタ・携帯用音楽プレーヤー

*個人情報記録されている小型家電は、個人情報データを必ず消去してください。また、乾電池やバッテリーは取り外してから出してください。



燃えるごみを減らすために生ごみの減量化

普段の生活の中で気をつけてもらいたいのが生ごみの減量化です。

実は生ごみの80%は水分です。生ごみの水分は、腐敗を進行させ嫌な臭いの原因にもなります。生ごみは水分を切ってからごみ袋にいれましょう。そのたったひとつの行動をプラスするだけで、環境にやさしいごみの減量化につながります。皆さんのご協力をお願いします。

生ごみのもとを減らそう!



生ごみは水切りをしよう!



生ごみを堆肥化しよう!



生ごみを家庭で堆肥化する

生ごみ処理容器等購入の補助制度があります。

▶生ごみ処理容器
(コンポスト等)

購入金額の2分の1

…【上限 3,000円/基(1世帯2基まで)】

▶生ごみ減量化機器
(電気式生ごみ処理機)

購入金額の2分の1

…【上限20,000円/基(1世帯1基まで)】





おめでとうございます



県幼年少女女性防火・防災大会で受賞

8月9日、日立シビックセンターで県幼年少女女性防火・防災大会が行われました。この大会は、防火・防災の重要性やクラブ間の交流を図ることを目的に行われます。優良民間防火組織として防災活動が認められ、太田中学校少年消防クラブが県幼年少女女性防火・防災委員長表彰を、太田ヤンから認定子ども園幼年消防クラブと上内田婦人防火クラブが県消防協会長表彰を受賞しました。



道路里親で県知事表彰

8月27日、県常陸太田工事事務所で県知事表彰状授与式が行われ、道路里親の棚谷町道路里親会と赤土ロードクリーンチームが受賞しました。道路里親は、県から認定を受け、道路の清掃・除草、花壇の手入れ等の道路美化活動を行っている団体で、両団体は平成28年から活動しています。



棚谷町道路里親会



赤土ロードクリーンチーム

救急医療功労者を表彰

救急の日および救急医療週間に当たり、長きにわたり救急医療現場で活躍されている方々に対し、消防本部より感謝状が贈呈されました。表彰者は次のとおりです。



大森医院：増子和江さん



大山病院：三井桃子さん



西山堂病院：石河希美さん

県吹奏楽コンクールで金賞

8月10日、ザ・ヒロサワ・シティ会館で行われた第59回県吹奏楽コンクールに金砂郷中吹奏楽部が出場し、見事金賞を受賞しました。県代表となり、9月21日に行われた東関東吹奏楽コンクールでは銀賞を受賞しました。





長寿を祝う

本市で今年度100歳を迎える方は17人、101歳以上の方は49人いらっしゃいます。最高齢は、會澤つめさん(箕町)108歳です。市では長寿の祝福として、米寿、白寿、100歳以上の皆さんにお祝いを差し上げています。

【2月で100歳】

金澤そてさん

(中染町)

周囲の方々の支えがあつて100歳を迎えることができ、大変ありがたく思います。昔から塩分控えめな食事を心がけたり、ミニカーを運転して自由に外出したりしていたことが健康の秘訣かもしれません。今は毎週3回、デイサービスに通つてオセロをすることが楽しみです。



【11月で100歳】

篠原明さん

(谷河原町)

健康の秘訣は気候に合わせた体調管理と規則正しい生活です。毎日の日課は、朝起きて新聞を読むこと、そして新聞のコラムを書き写すことです。数独を解くことも毎日の楽しみです。



TOPICS

少年消防クラブ員リーダー研修

8月7日、消防本部で少年消防クラブリーダー研修が行われました。これは、将来の地域防災を担う人材育成を目的に行われているもので、今年度は郡戸・幸久・水府・里美小学校少年消防クラブから18人が参加し、通報訓練や放水訓練、救急訓練、災害対応訓練などを行いました。



応急手当普及員養成講習会

8月2〜4日、総合福祉会館で応急手当普及員養成講習会を行いました。37人が参加し、救急救命士から応急手当の知識や技術、指導技法を学びました。受講者は「1人でも多くの方に心肺蘇生法を広め、人命を繋げる努力をしたい」と感想を述べました。





交通事故なし街頭キャンペーン

9月2日、下河合交差点で、交通事故なし街頭キャンペーンが実施されました。JA常陸の常陸太田梨部会や太田・高の協力のもと、市の特産品である梨のPRと併せて、交通事故撲滅の願いを込めた「事故なし」をドライバーに配布し、交通事故防止や高齢者への思いやり運転を呼びかけました。



自然と触れあおう

9月19日、水府小学校で生態計画研究所の奇^き二先生を招き、小学3・4年生が学校の周辺にある自然に触れる体験をしました。児童たちは、ペットボトルに入れた植物の音や香りなどを頼りに何の植物が入っているか当てたり、昆虫を何匹見つけられるか競ったりしながら

楽しく自然を感じることができました。参加した児童は「学校の周りにこんなに自然があるなんて知らなかった。楽しい授業だった」と話してくれました。





舜水中学校の学生と集合写真

中学生海外研修派遣事業 友好都市 中国・余姚市へ

中学生海外研修派遣事業

今年度の中学生海外研修派遣事業は、友好都市締結20周年記念事業の一環として、中国・余姚市へ派遣しました。

8月1～6日、市内中学校2年生の26人の研修生が6人の引率者とともに友好都市を訪問しました。

余姚市から大歓迎を受けた研修生は、舜水中学校の学生との交流会の後、余姚市のそれぞれの家庭でホームステイを体験。朱舜水記念堂などの史跡見学のほか、杭州の世界遺産見学や、上海では県上海事務所やジエトロ上海にも表敬訪問し、海外で活躍する日本人の現場の声を耳にするなど、さまざまな場面で刺激を受けて帰国の途にきました。

帰国後に行われた報告会では、全員が研修の成果を報告しました。以下、報告書の一部を紹介します。



太田中学校 小泉菜々花さん

ホームステイを通して感じたことは、人の温かさです。ホームステイ先の家族と初めて顔をあわせたとき、言葉が通じない、という不安から、会話のすべてを翻訳機に頼ってしまいそうな自分がいるのではないかと心配な気持ちがありました。ただ、ホームステイ先のみなさんが常に笑顔でジェスチャーや英語を使って必死になんか伝えようとする姿を見ているうちに、せつかく受け入れてくれたのに自分は何も伝えずにこのホームステイを終わらせてしまいましたという思いが芽生えてきました。(中略)自分たち日本人の言葉や文化を温かく受け入れてくださったホームステイ先のご家族の皆さんには感謝の気持ちしかありません。

中国で生活してみても特に感じたことは、英語は世界の共通言語だということです。(中略)茨城県上海事務所表敬訪問・JETRO表敬訪問をした際、中学生の時にしておくべきことの二つに、英語をいっぱい勉強しようという文がありました。これからの時代、求められるコミュニケーション能力も英語ができることで世界が広がっていくのだとしみじみ感じました。

峰山中学校 寺門愛珠さん

私が余姚市を訪問して感じたことは環境の違いです。私の住む常陸太田市は緑が豊かで、人口もあまり多くないところですが、余姚市はとても都会でビルが建ち並び、人口がとても多いところで、慣れるのにもとても苦労しました。(中略)お金の使い方も最初はよく分からず、多くだしすぎたりして小銭がたくさん返ってきて大変でした。でも、日にちを重ねるごとにだんだん慣れていき、(通訳の)和田さんの助けをかりなくても払えるようになり、余姚市での人気のお土産などが自分で買えてうれしかったです。

私は海外研修に参加して水の大切さを学ぶことができました。中国は日本と違って水道の水が飲めません。だから水を飲むときは買つか、水を沸かしてから飲まなければいけないのです。また、中国のトイレでは紙を流すこともできません。水道の水が飲めない、トイレで紙を流せないことは日本ではありえないことです。でも逆にそれがあたりまえになってはいけないのだと思います。(中略)これからはきれいな水が使えることに感謝して、無駄に使いすぎないように生活していきたいです。

世矢中学校 村田颯良さん

僕たちが海外研修に行くよりも先に、中国の中学生が常陸太田に来てくれました。その際、ホームステイ先を募集していたので、こんな機会はなかなかないと僕の家でも受け入れをしました。初めは、国や文化の異なる相手を泊めることに對して不安もあったというのが正直な気持ちです。(中略)しかし、実際に会ってみると僕たちとの違いは言葉くらいで、家の中でお菓子を食べながらリラックスする姿や、好きなマンガやスポーツで楽しむ姿は周りの友達となんの違いもなく、一緒にバスケットやバドミントンをした時にはハイタッチをしてお互いを褒め合ったり、心から笑い合ったりすることが出来ました。(中略)中国では二日間ホームステイを体験しました。受け入れた時とは違って異国の地で、しかも知らない相手の家に泊まるという不安や緊張がありました。しかし、ホストファミリーは初めて会った時から優しく微笑みかけてくれ、中国語ではなく、英語で話しかけてくれました。言葉への不安があった僕は、英語を聞いた瞬間『ほっとした。』のと同時に、英語は世界共通語なのだと思えて感じました。

瑞竜中学校 会沢優羽さん

私は余姚市訪問の中で一番、舜水中学校訪問が印象に残っています。舜水中学校では、生徒さんが日本の夢のような楽器、箏(そう)を使った曲を演奏してくれたり、日本の曲である「桜」を日本語で合唱してくれたりしました。(中略)他にも扇子の上にお互い好きなことを書いてプレゼントとして交換しました。(中略)中国と日本の生徒が書道を通して交流できたことに、中国から日本に漢字が伝わったことを実感しました。また、朱舜水記念堂にも行きました。朱舜水さんは、水戸藩の徳川光圀さんと関係が深いため私は授業で調べたことがありました。朱舜水記念堂に行き朱舜水についてのたくさんの資料を見たことで、朱舜水の歴史を詳しく知ることができ、日本だけでなく中国でも偉大だったと知ることができました。そして、中国と日本の結びつきの深さを改めて感じるここのでできる良い機会になったと思います。

金沙郷中学校 椎名凜花さん

私が、この海外研修を通して学んだことは、常陸太田市と余姚市が友好都市の締結までに至るきっかけとなった朱舜水と、その人物に関するたくさん知識を知り、理解を深め、高め合うことができた所だと考えます。日本の発展を助け、多方面での才能を発揮したその存在を忘れてはならないと思います。(中略)これからの未来を自分たちが担っていくため、身に付けた知識を発揮していきたいと思いました。上海事務所、JETRO表敬訪問を行い、様々な説明をしていただいたことから、中国と日本がこれからはどのような交流をすることができるのかを自分なりの考えを増やしていきたいと考えました。また、その考えの上で、両国の交友関係をどう守れるのが大切になってくるのではないかと思います。この常陸太田市が余姚市と友好都市締結をしているのなら尚更です。

水府中学校 平根彩雪さん

JETRO、茨城県上海事務所への訪問により様々なことが学べました。JETROは海外ビジネスを始める会社の手助けなどを行っている団体です。また、中国に進出している日本企業は、約3万4千社で華東地域に約2万2千社、上海には約1万社あることが分かりました。(中略)茨城県上海事務所は、茨城県空港就航対策、インバウンドの促進や対日投資促進などです。私は、特に県内中小企業の輸出支援に注目しました。茨城県の中小企業の輸出が進めば、茨城県の名が世界に広まると思っただけです。所長の野上さんは、英語を学ぶことやチャレンジすることの大切さを教えてくださいました。日本語を話せるのは約1億人、英語を話せるのは20億人以上と言われていることから、もっと英語を学びたい、学ばなければいけないと思いました。JETRO、茨城県上海事務所への訪問は、とても有意義なものでした。



茨城県上海事務所入口



上海タワー上層階からの景色



朱舜水記念堂



余姚交流会



河坊街班行動



河姆渡遺跡

第3回市議会定例会

令和元年第3回市議会定例会は9月2日～18日まで開かれ、平成30年度一般会計決算ほか、特別会計・公営企業会計等の決算を認定。また、補正予算などの議案が提出され、いずれも原案通り承認、可決、同意されました。



◇報告

●専決処分の承認を求めることについて：雑誌等資源物売却契約に係る未回収債権の支払いを求める訴えの提起

●平成30年度決算に基づく健全化判断比率：平成30年度決算では、本市は実質収支が黒字であり資金不足がないため、健全化判断比率は早期健全化基準を下回っており、健全な財政として報告

●平成30年度決算に基づく資金不足比率：平成30年度決算では、各特別会計（企業会計含む）で実質収支が黒字であり資金不足比率の数値は発生していないため、健全な財政として報告

◇条例の制定

●市農畜産物等加工施設の設置及び管理に関する条例：地域産業の活性化に資する施設の設置及び管理に関する必要な事項を定めるため制定

◇条例の一部改正

●市印鑑条例：住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令が公布・施行されること等に伴い改正

●市財産の交換・譲与・無償貸付等に関する条例：市有財産の譲与・無償貸付等ができる対象範囲を拡大するため改正

●市危険物の規制に関する手数料条例：地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令が公布・施行されることに伴い改正

●市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額を定める条例：特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令が公布・施行されることに伴い改正

●市災害弔慰金の支給等に関する条例：災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律が公布・施行されたことに伴い改正

●市水府竜神ふるさと村の設置及び管理に関する条例：施設の一部を廃止したことに伴い改正

●市水道事業給水条例：水道法の一部を改正する法律及び水道法の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令が公布・施行されることに伴い改正

●市簡易水道事業給水条例：水道法の一部を改正する法律及び水道法の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令が公布・施行されることに伴い改正

◇関係条例の整備

●消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備について：社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律により消費税率及び地方消費税率が改定されることに伴う関係条例の整備

◇契約の締結

●市立佐竹小学校校舎大規模改修工事請負契約について：大木・秋山特定建設工事共同企業体と1億7765万円円で契約

◇財産の処分

●市有財産の処分：旧北中学校の土地及び建物の処分

◇平成30年度決算認定

●一般会計、特別会計、公営企業会計：詳細は次号に掲載

◇令和元年度補正予算

●一般会計補正予算（第3号）について：2億8039万6千円を追加

●国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について：8868万2千円を追加

●後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について：104万2千円を追加

●介護保険特別会計補正予算（第2号）について：8697万8千円を追加

◇人事案件

●市人権擁護委員候補者の推薦：豊田洋子氏、猿田勇氏、石澤春美氏を推薦

高齢者安全運転支援装置の 購入・設置の補助がはじまりました

高齢運転者による自動車ペダル(ブレーキとアクセル)の踏み間違いによる交通事故を未然に防止し、高齢運転者や子どもたち、市民の皆さんの安全向上のため、急発進制御装置の購入・設置の補助事業を開始します。

市／高齢者安全運転 支援装置設置促進事業

◆対象となる安全運転支援装置…
ペダル踏み間違い時の急発進制御装置(後付け)

◆交付対象(次のすべてに該当すること)…

市内に住所を有する方／令和2年3月31日現在で満75歳以上となる方／有効な運転免許証を有すること／車検証の「**自家用・事業用の別**」に「**自家用**」と記載された車に取り付けること／車検証の所有者(使用者)の氏名と運転免許証の氏名が同一であること。ただし、これらの氏名が同一でない場合は、車検証の所有者(使用者)の住所と運転免許証の住所が同一であること。／市税等の滞納がないこと／転売を目的とし

ていないこと／暴力団員等でないこと

◆補助金の金額(1人1回限り)…急発進制御装置の購入・設置費用の2分の1以内(補助金額3万円が上限、1千円未満の端数切り捨て)
*交通安全協会の補助金との併用は可能。

◆交付申請等…

①あらかじめ市に交付対象者本人が申請書を提出してください(取付け後の申請はできません)。
②市で交付決定します。交付決定後に、装置を取付けてください。
③取付け後に、市に実績報告・補助金請求書を提出してください。(取付状況を確認しますので、当該自動車でお越しください)
◆申請書とともに提出する書類等…見積書の写し／カタログの写し／

運転免許証の写し／車検証の写し
◆実績報告とともに提出する書類等…

領収書の写し／作業明細書の写し／申請者名義の通帳(口座番号の部分)の写し

◆補助対象期間…10月1日～令和2年3月31日(すでに設置している方は対象となりません)

◆購入取付業者…市内業者に限る

◆申・問…市民協働推進課(内線170)、金砂郷支所(76・2111)、水府支所(85・1111)、里美支所(82・2111)

県交通安全協会／急発進 制御装置取付補助金

◆運用開始日…9月1日

◆交付対象…県内に居住する満70歳以上の高齢者で、本人名義の車両に後付け「急発進制御装置」を取付けた場合。

◆補助金の金額(1人1回限り)…

①県交通安全協会の普通会員…1万円
②非会員…2千円

◆交付申請等…

交付対象者本人による申請とし、所

定の様式「急発進制御装置取付申請書」により、同装置を取り付けた日から起算して6カ月以内に県交通安全協会事務局、または各地区交通安全協会に提出してください。

◆申請書とともに提出する書類等…

○運転免許証の写し

○車検証の写し

○取付領収書(取付会社名記載のもの)の写し

○当協会会員証(普通会员の場合)会員名・入会日・有効期間等記載面の写し

◆本制度を受ける際の留意事項…

○装置の取付ができない車両…アクセルがワイヤー式の車両には取付ができませんので、補助金交付対象となりません。

◆申・問…太田地区交通安全協会(太田警察署内72・6484)



地域の史跡を守り、魅力あふれる名所に整備

河内の文化遺産を守る会 代表 檜山貞人さん(町屋町)



桜、銀杏に加え、あじさいが散策路を飾ります



イベント案内

11月9・10日に行灯の赤レンガと銀杏まつりを開催します。地元の子どもたちが絵を描いた1500個の行灯が、旧町屋変電所周辺を幻想的に彩ります。ぜひお越しください。



河内地区の環境整備とともに、「行灯の赤レンガと銀杏まつり」やフォトコンテスト写真展などの開催により地域の魅力発信に取り組んでいます。旧町屋変電所周辺においては、あじさいの植栽や散策路の整備など、年間をとおして来訪者を楽しませることができるよう公園化を進めています。また、黒磯バツケの危険個所の見直しや表示板の取付けなども行い、市内から県内の名所として知名度をアップさせ、地域を盛り上げていきます。

わたしたちの
まちづくり

問 市民協働推進課 (内線217・218)

会員の熱心な活動により、地域の交流の場を創出

薬谷倶楽部 代表 永田清さん(薬谷町)



きれいに整備された広場はグラウンドゴルフの愛好者に人気です

利用案内

1日1人100円で広場を利用できます。友だち等をお誘いあわせの上、ぜひご利用ください。

*用具セットの貸出しは、1回500円(クラブとボールの貸出しは要相談)。

申・問 代表 永田
(090-2674-3580)

山田川河川敷の多目的運動広場を整備し、地域の新たな交流拠点として活用しています。事業4年目となる今年度は、450束もの芝を新たに植付け、グラウンドゴルフ場16ホールを完成させました。新規の植栽部分ほど雑草が繁殖するため、週3回の活動日に除草作業を行っています。プレー中でも草抜きを行うなど、会員の皆さんの熱心な活動により、コースがきれいに維持管理されています。今後もより多くの方に利用してもらえるように活動を継続していきます。

皆さんのまちづくりを
応援します！
市では、自分たちの力で地域の課題解決や、地域の活力を生み出し、地域交流を図ろうとするグループや団体を市民提案型まちづくり事業として採択し、応援しています。

また、市民活動ネットワークでは、採択団体に限らず、市内の市民活動やボランティア活動などを掲載しています。市ホームページ左下「関連リンク」から、ぜひご覧ください。



高血圧を撃退!!

健康レシピで上手に減塩V



高血圧の予防には減塩だけでなく、血管を若々しく丈夫に保つため、カルシウムをしっかりとることも効果的。1日の食事でもとることが難しいカルシウムは、吸収の良い牛乳・乳製品を間食でとろう！今月はカルシウム豊富なおやつレシピです。



ヨーグルトゼリー

材料：4人分（目安量）

プレーンヨーグルト	300g
スキムミルク	大さじ4
砂糖	大さじ1
レモン汁	大さじ1
ゼラチン	5g
水	大さじ4
ブルーベリーソース	大さじ4

1人分栄養価

エネルギー
120kcal
食塩相当量
0.2g
カルシウム
158mg

このレシピのおすすめポイント

スキムミルクを加えることで、さらにカルシウムアップ!!
甘みもあるので砂糖を控えることもできます。

作り方

- ① 器にゼラチンを入れ、水を加えてふやかしておく。
- ② ボウルにヨーグルト・スキムミルク・砂糖・レモン汁を入れてよく混ぜる。
- ③ ①を電子レンジ（600W）で20秒程加熱してとがす。
- ④ ②に溶かしたゼラチンを少しずつ加えて混ぜ合わせる。
- ⑤ 器に④を入れて冷やし、固まったらブルーベリーソースをかける。

ひとことアドバイス

■ 火を使わずに混ぜるだけなので、お子さんでも簡単に作れます。



健康レシピは市ホームページ掲載中です



常陸太田市森林組合

本社：常陸太田市小中町 82-1



常陸太田の輝く企業を紹介！



常陸太田市には、各分野で活躍する輝く企業が多くあります。このコーナーでは、そんな輝く企業の「魅力」をご紹介します！地元就職を考えている学生さんも必見です！

アットホームな古き良き森林組合

当組合の組合員数は約2250人、組合員の所有している山林の管理や整備が主な業務です。大まかには「木の伐採・搬出」「伐採後の植林」「植えた木の育成」です。住宅敷地内や公園などの危険な樹木を処理したり、木製品製作も行ったりします。

人が住む「家」に使われるのは「木」です。伐採し、搬出した丸太は市場で販売され、それが家を作る板や角材といった材料になります。建物に限らず人間の生活に木は欠かせず、それを社会に供給することで皆さんの生活に貢献しています。

また、木は二酸化炭素を吸収して酸素を作ります。そして山は水を蓄えるダム役割をしています。山を整備して木を育てることは、地域の自然環境の向上にも繋がるのです。



《企業データ》

代表者：代表理事組合長 江幡一郎
 資本金：6400万円
 TEL:82-2131
<http://ota-shinrin.jp/>

ECO
トピックス

用水路探検で水辺の生き物発見!

小妻町

8月4日、小妻町で「ドキドキー水辺のお宝さがしin小妻」を開催。市内外の親子や太田二高、太田三高、茨城キリスト教大学の学生ボランティア、エコミュージアム活動員など合わせて約80人が参加しました。参加した親子は、地元の方から「ラバー壩」や水路探検の方法の説明を受け、用水路探検に出発。カジカやカタツムリ、サワガニやカエルなど水辺の生き物に触れ合い、小妻町の豊かな自然を満喫しました。お昼には、流しそうめんや手作りのおにぎり、かき水のみなどで食べ、楽しいひとときを過ごしました。



ECO
トピックス

地域のお宝を巡って大冒険

上深荻・大菅町

8月18日、上深荻・大菅町で「WAO!!夏の冒険2019」が開催されました。参加者は、地元や市内外の親子、茨城キリスト教大学の学生ボランティア、エコミュージアム活動員など約160人。地域にまつわるクイズなどの6つのミッションに挑戦し、町内を冒険しました。約2時間の冒険を終え、流しそうめんや地元の方の手作りのおにぎりを食べたり、スイカ割りで交流を深めたのち、ミッションをクリアした子どもたちに「キッズ冒険家認定証」を授与。上深荻・大菅町の夏を存分に楽しみました。



ちょっと寄り道

天満神社

今月は谷河原町



私の住む里川近くの谷河原町釜田地区には天満神社があります。この天満神社は、菅原道真が祭神であり、創建は不詳ですが明治時代から続く台帳を代々氏子総代が大切に受け継いでいます。徳川光圀の「二村一社」の鎮守制度により、谷河原村作ノ堂の神社に合祀されましたが、民衆総意の嘆願書を提出し、天保5年に元の場所に復元されました。平成8年2月に鳥居が修復され、

2・6・11月の年3回、9戸の氏子で御田植祭をし、今も昔も変わらず人々に親しまれています。谷河原町にお越しの際は、ぜひ天満神社にお立ち寄りください。

私の住む里川近くの谷河原町釜田地区には天満神社があります。この天満神社は、菅原道真が祭神であり、創建は不詳ですが明治時代から続く台帳を代々氏子総代が大切に受け継いでいます。徳川光圀の「二村一社」の鎮守制度により、谷河原村作ノ堂の神社に合祀されましたが、民衆総意の嘆願書を提出し、天保5年に元の場所に復元されました。平成8年2月に鳥居が修復され、



天満神社

てくてく ウォーク 101



上深荻・大菅町 ハイキングコース

▼距離…約5.5 km
▼時間…約2時間

その2

今回は、南端が日立市に隣接する上深荻・大菅町を歩きます。平成23年8月号で町内の北側を紹介するコースを紹介しましたが、今回は町内の南側を中心としたコースを紹介します。上深荻大菅コミュニティセンターに車を停めて、国道349号線を南側に進みましょう。愛宕神社や地蔵などの歴史的資源から、大石や鉱泉などの自然資源、水力発電や里美大橋といった産業的資源など、様々な魅力を持つ上深荻・大菅町。オススメのフォトスポットもあるので、ぜひカメラ片手に新たなハイキングコースを楽しんでみてください。

① 交通安全祈願観音像



交通安全を願って建てられた観音像。交通量の多い国道349号線沿いを通るみんなの安全を見守ってくれているようです。

② 愛宕神社・薬師堂



元々は別の場所にあったものを平成28年にこの場所へ移転し建て替えられました。愛宕神社には防火・防災を、薬師堂には健康・長寿を祈願しましょう。

③ 水力発電施設



里川から水を引き発電を行っています。里川水系は、昔から水力発電が行われているエコスポットです。



★カメラポイント



里美大橋を下から覗くカメラスポットです。緑の山々をバックに、青空とのコントラストを写してみても。

④ ドンくちの大石



町内で一番大きな石と言われています。地元民だからこそ知っている地域のお宝です。

⑤ 湯泉



硫化水素を多く含むアルカリ泉が湧いています。昭和20年頃まではこの湯泉を利用して湯治場があったのだとか。

⑥ 富士山下の清水



地元集落で水質検査を行っていて、飲料水として利用できる天然の軟水。クセのないすっきりとした湧水です。